

# 2025・2026年度研究課題の募集について

2025・2026年度の研究課題を募集します。学術委員会規約及び研究助成金細則を参照して、研究課題申請書を下記の要領で作成し、2025年3月3日(月)までに郵送又はメール\*にて応募してください。

## 2025・2026年度研究課題申請書

研究代表者(ふりがな)：  
所属・職名：  
住所：  
(電話 FAX e-mail 会員番号 )  
研究課題名：(和文)  
(英文)  
研究区分：(基礎研究/臨床研究) ※どちらかをお選び下さい。  
  
研究組織(研究代表者及び共同研究者の氏名、所属)：  
研究目的：  
研究を必要とする背景：  
2年後の研究達成目標：  
研究計画概要(具体的に)：  
2025年度、2026年度  
当学会研究費以外の支援経費(班研究費、科研費、AMEDなど)：  
その他(他学会との関係など)：  
参考資料(論文など)：

■送付先 〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14 TOKIビル5F  
公益社団法人日本放射線腫瘍学会 学術委員会宛  
TEL：03-3527-9971 FAX：03-3527-9973  
e-mail：jastro-office@jastro.jp \*メール送付の場合は、事務局よりの受領返信メールを必ずご確認ください。

(注1) 本研究助成事業では、大規模な研究費の獲得は難しいが放射線治療への貢献度が高いと考えられる基礎研究・臨床研究を広く募集します。若手学会員、一般病院勤務の学会員からの申請も歓迎します。採択可能と考える課題には、標準的治療法についてのガイドラインまたはコンセンサス作成、retrospectiveな調査研究、prospective studyを行うための基礎データ作りやプロトコルコンセプト作成、その他本事業として行うに相応しいと判断された調査研究等を含みます。多施設共同臨床試験、prospective study、あるいは抗がん剤を用いる臨床試験などは、本事業に馴染みにくいため、人的・財政的基盤のある組織にまかせるのが妥当と考えています。

(注2) 学術委員会は応募課題から本研究助成に相応しいと考えられるものを理事会へ推薦し、理事会が研究助成対象として決定します。なお、研究助成対象の選定は、原則として基礎研究と臨床研究それぞれの区分から1課題以内としますが、同等に優秀な課題がある場合には上限4課題までの採択を可能とします。いずれの場合も、1課題あたり年間30万円の助成を原則2年間行います。

(注3) 本助成金の使途は、採択された課題研究に関する費用のみとし、学会参加費や出張旅費の支出は研究費の半分以上と定めています。使途が不適切と判断された場合には助成金の返還を求める場合があります。

(注4) 研究区分については学術委員会の判断によって変更されることがあります。

(注5) 他の研究費をすでに獲得している課題については、研究内容によらず選外となる場合があります。

■参考 実施中の研究課題：代表者

- 【1年目】 ●炭素イオン線治療の生物学的高精度化を目指した超解像DSB解析：尾池貴弘  
●体表面画像誘導放射線治療(SGRT)の国内適正利用に資する研究：斎藤正英  
●放射線治療計画における無害・無侵襲な口腔内貼付マーカーの研究開発：濱 瑞貴  
●神経内分泌腫瘍に対する<sup>177</sup>Lu核医学治療の線量評価法の標準化への前向き検討：八木橋貴之
- 【2年目】 ●循環器診療における、がん放射線治療関連心機能障害の前向き検討：網野真理  
●放射線治療情報の相互利活用に向けた輪郭名称の命名標準化：篠田和哉  
●超高精度ワイドエリア三次元測定機を用いた、高精度放射線治療装置の新たな幾何学的品質管理手法の確立：矢田隆一